

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスHappiness Lifeみらい店		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 10日		～ R7年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	R7年 12月 10日		～ R7年 12月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援学級の経験を持つ児発管をはじめ、各支援員の得意分野を生かして利用者・保護者に対し接することができる。	・支援員が利用者個々の支援に対し、共有することで共通の目標や考えを持ち、協力して一貫した支援に努めている。	・資格取得や研修などにも参加し、更にスキルアップを図る。
2	・手作りおやつを提供。 ・室内でも運動できる環境がある。 ・週1回のテニス活動を通じて、運動不足解消や他店舗との交流がある。	・「三色で不足する栄養の補給」と「食への関心を高める機会」として食育にも努めている。 ・室内でも走ったりもできるため、危険なことなどの話しをしたり、時間や遊び方、場所の区切り方などの工夫をしている。	・食への興味や理解が更に深まるよう、提供方法や関わり方の工夫を継続していく ・運動時のルールや約束事を分かり易く伝えたり、視覚化したりするなどの工夫をし、子ども自身が安全を意識して行動できるよう支援していく。
3	・関係機関や学校、保護者などの連携を密にとっている。	・家庭、学校、事業所が密に連携をし、トライアングルプロジェクトを意識した支援を行っている。また、関係機関(相談員、医療機関等)とも連携をし利用者に応じた支援に努めている。 ・利用児だけでなく保護者ともコミュニケーションを図り、相談支援にも積極的に取り組んでいる。	・情報共有や連携のあり方を整理し、より効果的な連携支援に繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・高学年に上がるにつれ活動時間の確保が難しくなっていく	・高学年になるにつれ、学校での下校時間が遅くなること ・部活動や習い事等、学校外活動が増えること ・学習量や疲労の増加により、長時間の活動参加が難しくなること	・短時間でも参加しやすい活動内容やプログラムの工夫 ・学年や生活リズムに応じた柔軟な活動設定 ・学習支援や個別活動を中心とした効率的な支援時間の活用 ・保護者や学校と連携し、無理のない利用計画を検討していく
2	・システムを上手く活用できていない。	・職員間でシステム操作や活用方法の理解に差があること ・日々の業務に追われ、システム活用の見直しや習得の時間が十分に取れていないこと ・導入目的に対して、活用方法が整理されていないこと	・システム操作に関する研修やマニュアルの整備 ・記録や情報共有の方法を統一し、業務効率化を図る ・職員間で活用事例を共有
3	事故対応、災害対応等の緊急時の対応マニュアルは整えているが、実際の緊急事態が起こった際に従業員、利用児童、保護者の対応がスムーズできるのか課題である。	・マニュアルや訓練は行っているものの、緊急時の対応について職員間で想定に差がある可能性があること	・事故や災害を想定した、より具体的な場面を設定した訓練を行うことで、職員間の共通理解を深めていく。